

## 預金積金および貸出金の状況

預金積金残高

**9,331** 億円

キャンペーン定期預金の取扱いなどにより、多くの方からお預け入れをいただいた結果、預金積金残高は9,331億円となりました。

貸出金残高

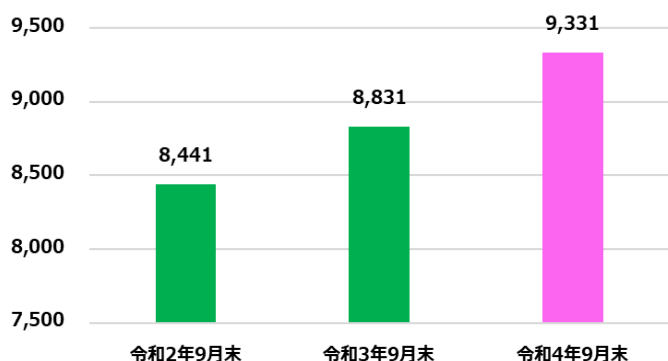
**4,024** 億円

事業者向け貸出を中心に堅調に推移し、貸出金残高は4,024億円となりました。なお、当金庫の貸出金は、特定の業種に集中することなく、様々な業種のお客さまにご利用いただいております。

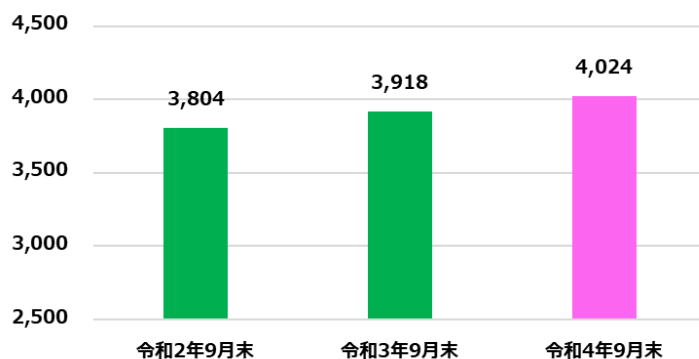
(単位：億円)

(単位：億円)

預金積金残高



貸出金残高



## 収益の状況

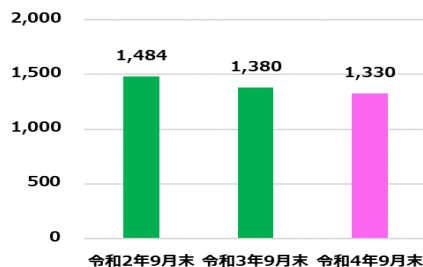
当期純利益

**13** 億円

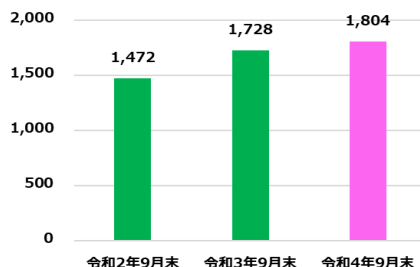
令和4年9月末の当期純利益は13億15百万となりました。また、コア業務純益は16億51百万円、経常利益は18億4百万円となりました。

(単位：百万円)

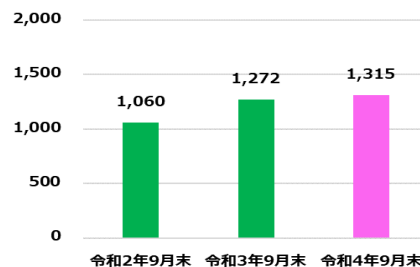
業務純益



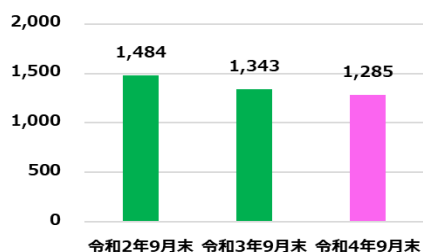
経常利益



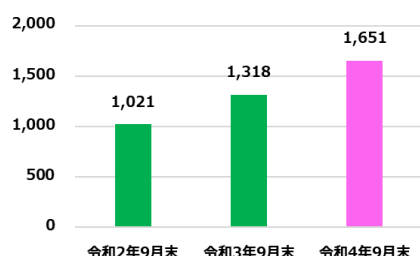
当期純利益



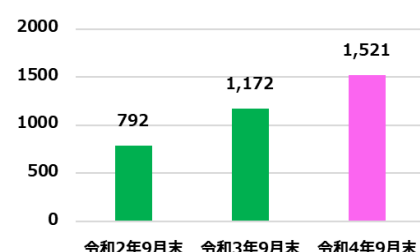
実質業務純益



コア業務純益



コア業務純益  
(投資信託解約益除く)



# 自己資本の状況

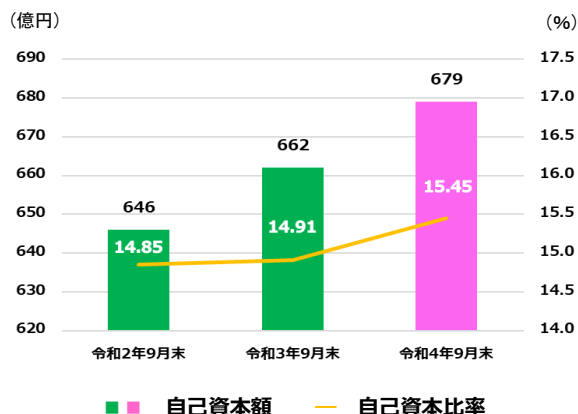
自己資本比率  
(単体ベース)

15.45%

自己資本比率は、リスクの度合いに応じて換算した資産に対する、出資金や内部留保等の自己資本の割合のことで、金融機関の健全性を示す重要な指標のひとつです。

令和4年9月末の自己資本比率は15.45%となり、引続き国内基準(4%)を大きく上回る健全性を維持しております。

今後とも、皆さまに安心してご利用いただけるよう、自己資本の充実に努めてまいります。



# 不良債権の状況

不良債権比率

3.37%

(信用金庫法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権ベース)

令和4年9月末の不良債権残高は137億3百万円となり、不良債権比率は3.37%となりました。

この内、担保・保証および貸倒引当金で130億67百万円、95.35%がカバーされております。残りの不良債権残高6億36百万円も潤沢な自己資本679億96百万円によりカバーされ、不良債権に対する備えは万全です。

(単位:百万円)

	令和3年9月末	令和4年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,850	2,085
危険債権	11,400	11,617
要管理債権	-	-
三月以上延滞債権	-	-
貸出条件緩和債権	-	-
小計	13,250	13,703
保全額	12,507	13,067
個別貸倒引当金	2,168	2,048
一般貸倒引当金	-	-
担保・保証等	10,339	11,018
保全率(%)	94.39	95.35
引当率(%)	74.48	76.30
正常債権	382,361	392,662
総与信残高	395,612	406,366

# 有価証券の時価情報

◆その他有価証券の含み(損)益の状況

(単位:百万円)

	令和4年9月末			
	時価	含み(損)益	うち益	うち損
株式	2,406	428	442	13
債券	404,365	△10,774	583	11,357
その他	38,269	1,204	2,156	952
合計	445,041	△9,141	3,181	12,323

(注)「その他」は、外国証券および投資信託等です。

◆満期保有目的の債券および子会社・関連会社株式の含み(損)益の状況

(単位:百万円)

	令和4年9月末			
	時価	含み(損)益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	-	-	-	-
子会社・関連会社株式	22	-	-	-
合計	22	-	-	-

(注)「子会社・関連会社株式」は、帳簿価格を時価としております。